



# タンザニアの「ブルドーザー」大統領 ——マグフリ政権の特徴——

Tanzania's 'Bulldozer' President:  
Characteristics of the Magufuli Administration

粒良 麻知子

TSUBURA, Machiko

## はじめに

2015年11月に大統領に就任したタンザニアのジョン・マグフリ（John Magufuli）は政権4年目を終え、2020年10月に予定されている総選挙（大統領・国会議員・県議員選挙）までの任期は残り数カ月となった〔The Citizen 2020b〕。「ブルドーザー」の異名を持つマグフリ大統領のこれまでの政権運営を振り返ると、政府主導の経済政策を進め、汚職対策や政府の経費節減を実施し、その指導力が国民から高く評価されてきた〔Jennings 2016〕。一方、野党の集会、メディアや市民団体の活動を厳しく取り締まっており、国内外から強権的であるという批判の声も大きい。マグフリは10月の大統領選挙での再選に向けて、今後、選挙活動を本格化させるだろう〔Mtengwa 2020〕。本稿はマグフリ政権の特徴をまとめた後、その背景を政党・選挙政治の側面から考察する。最後に10月の総選挙に向けて注目すべき点を挙げる。

## 1. 2015年のマグフリ大統領就任

1961年に独立したタンザニアは、ジュリアス・ニエレレ（Julius Nyerere）初代大統領の指導のもと、社会主義による国家建設を目指し、1965年に一党制を導入し、革命党（Chama Cha Mapinduzi: CCM）による一党支配が行われていた。その後、1985年にニエレレが退任し、市場経済および複数政党制への移行を経て、1995年から5年ごとに計5回の複数政党制選挙が行われ、CCMがすべての選挙を勝利してきた。2015年大統領選挙では、汚職や派閥政治から距離を置いていたマグ

フリ建設大臣が、選挙に向けた挙党体制を築くのに適した中立的な指導者であるとして、CCM の大統領候補に選ばれた。大統領選挙は CCM と主要野党の民主開発党（Chama cha Demokrasia na Maendeleo: CHADEMA）を含む野党連合のあいだの競争の激しい選挙となったが、マグフリは選挙キャンペーンのために全国を駆け回り、大統領に選出された。ただし、CCM にとっては史上最も低い 58.8% という得票率での当選であった [粒良 2017; Paget 2019]。

マグフリは 1995 年の国会議員選出後、豊富な閣僚経験を持ち、建設大臣として堅実に道路建設を実施した経験、そして、大統領就任後の汚職や政府予算の無駄使いに対する厳しい姿勢から、「ブルドーザー（スワヒリ語では Tingatinga）」という愛称で呼ばれている [The Citizen 2015; BBC 2019; The Economist 2019]。本稿は、第 2 節で「ブルドーザー」大統領によるこれまでの政権運営の特徴をまとめ、第 3 節でその背景を政党・選挙政治の側面から考察する。

## 2. マグフリ政権の特徴

2016 年に策定されたタンザニアの「第 2 次国家 5 カ年開発計画」は、1970 年代の社会主義体制下のような産業化を政府の政策の中心としており、マグフリ政権はこれに沿って国営企業を復活させ、経済活動における政府の役割を強化し、国内歳入の向上に取り組んできた [United Republic of Tanzania n.d.; Paget 2017c; Pedersen and Jacob 2019, 19-20]。その鉱業政策は資源ナショナリズムの様相を呈しており、2017 年には天然資源に対する大統領や政府の権限を強化する法律を制定し、海外企業による天然資源の採掘や輸出の条件を厳しくしてきた [Paget 2017b; Jacob and Pedersen 2018; Polus and Tycholiz 2019, 164; Poncian 2019]。また、マグフリ大統領は中国からの援助を歓迎する発言をしている一方 [BBC 2018]、2019 年 6 月、ダルエスサラーム市近郊にあるバガモヨ市港湾の建設を予定していた中国企業による貸与年数や免税措置等の要求を拒否して建設計画を停止するなど [Hursh 2019]、タンザニアが不利になる海外投資は受け入れないという堅固な姿勢を貫いている。

マグフリ大統領は、国の経済成長や貧困削減を推進するため、就任直後から徹底した汚職対策、政府の経費節減、効率化を進めてきた。たとえば、2015 年、歳入庁および港湾局の多数の高級官僚、汚職予防撲滅局の局長を脱税への関与やその対応の悪さを理由に罷免したほか [Jennings 2016]、大統領就任の約 1 カ月後に予定されていたタンザニアの独立記念日式典を中止した [Mwangonde 2015]。また、公務員や閣僚を含む政府関係者の不要な海外出張を禁止し、2015 年 11 月から 1 年間で約 4 億米ドルの政府予算を節減したという [The Citizen 2017; Mtulya 2019]。マグフリ大統領は怠惰な公務員に対しても厳しく、2016 年には給与を受給しつつも実際には就業していない「幽霊」公務員 1 万人以上を罷免した [BBC 2016]。このような汚職対策、政府の経費節減や効率化は、前政権では根本的な改善が見られなかったことから、国民に大いに歓迎された [Jennings 2016]。

他方、マグフリ政権は政府を批判する野党、メディア、市民社会の活動も厳しく取り締まってきた。2016 年、次の総選挙が行われる 2020 年まで政治家が自身の選挙区の外で政治集会を行うことを禁止し、野党は支持基盤の拡大が極めて困難になった [Mtulya 2019; Simtowe 2019]。また、



2016 年から 2018 年のあいだに選挙区外の政治集会への参加や扇動的あるいは暴力的な発言を行ったという理由で、CHADEMA の国会議員を中心に、少なくとも 23 人の野党議員が逮捕されている [Cross 2019, 198]。2017 年には、激しい政府批判を行ってきた CHADEMA 幹部が自宅前で 28 発以上の発砲を受けて重傷を負う事件が起きた。政府は事件への関与を否定しており、その真相は不明だが、現政権下で政府批判を行うことの怖さを国民に印象付ける出来事となった [Paget 2017c; BBC 2019; Cross 2019, 198]。また、マグフリ政権によるメディアの取り締まりの結果、2016 年 8 月から 2018 年 11 月のあいだに、政府に対する敵意を扇動する内容や、誤ったあるいは誤解を招く統計を発表したという理由で、計 11 の新聞社、ラジオ局、テレビ局が最長 2 年の業務停止を命じられた [Cross 2019, 199]。ほかに、マグフリ大統領は、同性愛に反対する発言や、妊娠した女子小中学生を退学させるべきであるという発言を行い、人権団体から強い批判も受けてきた [Gaffey 2017; BBC 2017]。

マグフリ政権の特徴として、社会主義思想を掲げて国を統治したニエレレ初代大統領との共通性も挙げられる [Fouéré 2019; Westcott 2019]。毎年、ニエレレが亡くなった 10 月 14 日のニエレレ・デーには同大統領を称える報道や行事が盛んに行われるが、没後 20 周年を記念する 2019 年のニエレレ・デーでは、ニエレレの指導者像に重ねながらマグフリ大統領の実績を振り返り、次の任期を見据えた報道が目立ち、すでに 2020 年大統領選挙に向けた選挙キャンペーンの様相を呈していた [Fouéré 2019]。さらに、マグフリ大統領の人事の特徴として、大学教員を中心とした知識人層を政府、閣僚、国営企業の要職に多数、任命していることが挙げられるが [Pedersen and Jacob 2019, 18]、とりわけ CCM 事務局に関しては、2016 年に就任した CCM 広報官、2018 年に就任した CCM 幹事長<sup>1</sup>ともに、ニエレレの推進した社会主義思想に傾倒する知識人である [Collord 2018; Kolumbia 2018]<sup>2</sup>。

また、マグフリ大統領は就任以来、CCM 内の統制にも努めてきた。たとえば、大統領は 2017 年に政権に対して批判的な CCM 党員を厳しく処罰しており [Machira 2017]、2020 年には前回の大統領選挙で党の有力な大統領候補であったバーナード・メンベ (Bernard Membe) 元外相が、次の大統領選挙に向けてマグフリの対立候補を立てようとしているという疑いがもたれ、党から除籍されている [Kolumbia 2020; The Citizen 2020a]。

### 3. マグフリ政権の特徴の背景にある政党・選挙政治

以上のようなマグフリ政権の特徴の背景には、2015 年にマグフリが CCM の大統領候補に選ばれた経緯や、近年の野党勢力の拡大といった政党・選挙政治がある。マグフリは 2015 年まで CCM の派閥政治から距離を置いてきたため、大統領就任当初は、政権運営にあたって党内外に頼れる支持基盤がないことが問題となりうるという見方もあった [Jennings 2016]。このような背景をふ

<sup>1</sup> CCM 広報官および幹事長は党則に従って党の全国執行委員会で決定したが、党首であるマグフリ大統領が同委員会の議長を務めており、その決定に大きな影響力を持っていたと考えられる。

<sup>2</sup> 2010～2015 年の筆者とのちに CCM 広報官・CCM 幹事長となった人物との対話および 2019 年 11 月の筆者によるダルエスサラーム大学政治行政学部の政治学者へのインタビュー。



まえると、第2節で述べたマグフリ政権による政府主導の経済政策には、民間企業の経済活動を抑制することにより、野党や与党内の有力な政治家への政治資金の流入を制限するという側面もあり [Collord 2017]、政治基盤強化の戦略であると捉えることもできる。厳しい汚職対策や政府の経費節減、効率化も大統領の権力強化につながっており、ニエレレ初代大統領の政治思想や政策への回帰傾向も CCM 内の派閥を統制するための戦略であるとも言える [Paget 2017a, 160]。

また、マグフリ大統領の強権的な政権運営の背景には、2015 年までの CHADEMA の勢力拡大もある。CHADEMA は 2003 年頃から民間企業の寄付の増加によって党の財政を強化し、全国で支持者の動員に注力した結果、勢力を拡大し、CHADEMA の大統領選挙での得票率は 2005 年の 5.9% から、2010 年の 27.1%、2015 年の 40.0% にまで上昇した [Paget 2019; 2017a, 153-160; International Foundation for Electoral Systems 2020]。与野党が選挙で拮抗するようになった現在、CCM が政権を維持するためには、政府および与党内の権力をマグフリ大統領に集中させ、政府や与党、野党、メディアなどを厳しく取り締まる必要があったのである。

2019 年 11 月、2020 年総選挙の前哨戦にも位置付けられる地方選挙が行われ、全国の計約 30 万人の村・町長と村区長が選出された。この選挙では数千人の野党候補者が立候補の届出書類における些細な不備を理由に立候補が認められず、CHADEMA をはじめとする野党 7 党が選挙への参加を拒否した。そのため、CCM が 99% 以上の票を得て圧勝する結果となり [The Citizen 2019; Al Jazeera 2019]、総選挙においても野党が参加を拒否する可能性も出てきた [Taylor 2020]。

今後、10 月の総選挙に向けた選挙キャンペーン期間が正式に始まると、政治家による選挙区外の政治集会が解禁される見込みであり [Amnesty International 2020]、野党の動向が重要となる。マグフリ政権の野党に対する圧力がさらに強化されることが予想されるが、結果として野党が選挙への参加を拒否した場合、CCM は勝利したとしても選挙の正統性が損なわれるため、マグフリとしては野党の参加拒否は避けたいところだろう。今後のマグフリおよび CCM による選挙戦略の展開や与野党間での駆け引きは注目に値する。

最後に、タンザニアにおける新型コロナウイルス感染者数は、政府によって 4 月 29 日時点で 509 名、死者 21 名と発表された後、更新されていない。マグフリ大統領は 6 月初旬、タンザニアでは新型コロナウイルスは終息したと発言しているが、その実態は不明である。今後、新型コロナウイルスが政治情勢に影響する可能性があることも留意したい [BBC 2020; Mwai and Giles 2020]。

## ■ おわりに

「ブルドーザー」と呼ばれるマグフリ大統領による 4 年半の政権運営をふりかえると、政府主導の経済政策や汚職対策、政府の予算節減といったさまざまな改革が行われてきた一方、政権を脅かす可能性を排除するために、野党やメディア、与党内の異分子等に対して厳しい姿勢が貫かれてきた。その背景には 2015 年に党内に支持派閥を持たないマグフリが CCM の大統領候補に選ばれた経緯や、野党勢力の拡大による与野党間の権力バランスの変化があり、その弱い政治基盤を強化することをおもな目的として政権が運営されてきたと言えるだろう。このような流れをふ





まえて、10月の総選挙までのマグフリ政権運営の展開に注目したい。

## 参考文献

〈日本語文献〉

粒良麻知子 2017. 「タンザニアの優位政党の大統領候補選考と派閥政治」『アフリカレポート』(55)79-91.

〈外国語文献〉

- Al Jazeera 2019. "Tanzania to Hold Local Elections amid Opposition Boycott." 23 November. (<https://www.aljazeera.com/news/2019/11/tanzania-hold-local-elections-opposition-boycott-191123052345878.html>, 2020年6月25日アクセス).
- Amnesty International 2020. "Tanzania: Opposition Politicians Arrested as Crackdown Escalates Ahead of Elections." 24 June. (<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2020/06/tanzania-opposition-politicians-arrested-as-crackdown/>, 2020年6月25日アクセス).
- BBC 2016. "Tanzania Purges 10,000 'Ghost Workers' in Anti-Corruption Drive." 16 May. (<https://www.bbc.com/news/world-africa-36303031>, 2020年6月25日アクセス).
- 2017. "John Magufuli's Pregnant Schoolgirl Ban Angers Tanzanian Women." 23 June. (<https://www.bbc.com/news/world-africa-40379113>, 2020年6月25日アクセス).
- 2018. "John Magufuli: Tanzania Prefers 'Condition-Free' Chinese Aid." 27 November. (<https://www.bbc.com/news/world-europe-46364342>, 2020年6月25日アクセス).
- 2019. "John Magufuli: Tanzania's 'Bulldozer' President in Profile." 30 October. (<https://www.bbc.com/news/world-africa-34670983>, 2020年6月25日アクセス).
- 2020. "Coronavirus: John Magufuli Declares Tanzania Free of Covid-19." 8 June. (<https://www.bbc.com/news/world-africa-52966016>, 2020年6月25日アクセス).
- Collord, Michaela 2017. "Tanzania: Where President Magufuli's Politics and His Economics Meet." *Democracy in Africa*. (<http://democracyinafrica.org/tanzania-president-magufulis-politics-economics-meet/>, 2020年6月25日アクセス).
- 2018. "Tanzania: The 'New' CCM, Same as the Old CCM? Continuity and Change in Authoritarian Parties." *Presidential Power*, 26 September. (<https://presidential-power.net/?p=8655>, 2020年6月25日アクセス).
- Cross, Charlotte 2019. "Cybercrime and the Policing of Politics in Tanzania." in *Social Media and Politics in Africa*. eds. Maggie Dwyer and Thomas Molony. London: Zed Books.
- Fouéré, Marie-Aude 2019. "Commemorating Nyerere, Celebrating Magufuli in Tanzania." *Mambo!* XVI(11) (Translated by Gaspard Darbon and revised by Sylvie Dubord) (<https://mambo.hypotheses.org/2043>, 2020年6月25日アクセス).
- Gaffey, Conor 2017. "Gay in Africa: 'Even Cows' Disapprove of Homosexuality, Says Tanzania President amid Crackdown." *Newsweek*, 27 June. (<https://www.newsweek.com/gay-africa-tanzania-john-magufuli-629333>, 2020年6月25日アクセス).
- Hursh, John 2019. "Tanzania Pushes Back on Chinese Port Project." *The Maritime Executive*, 12 February. (<https://www.maritime-executive.com/editorials/tanzania-pushes-back-on-chinese-port-project>, 2020年6月25日アクセス).
- International Foundation for Electoral Systems 2020, *ElectionGuide* (<http://www.electionguide.org/>, 2020年6月25日アクセス).
- Jacob, Thabit and Rasmus Hundsbaek Pedersen 2018. "New Resource Nationalism? Continuity and Change in Tanzania's Extractive Industries." *The Extractive Industries and Society* 5: 287-292.
- Jennings, Michael 2016 "Will Magufuli's Popular Anti-Corruption Drive in Tanzania Last?" *World Politics Review*, 1 April. (<https://www.worldpoliticsreview.com/articles/18367/will-magufuli-s-popular-anti-corruption-drive-in-tanzania-last>, 2020年6月25日アクセス).
- Kolumbia, Louis 2018. "New CCM Secretary-General Lists Priorities." *The Citizen*, 31 May. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/New-CCM-secretary-general-lists-priorities/1840406-4588652-dp4s1d/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- 2020. "Bernard Membe to Respond After He Is Expelled from CCM." *The Citizen*, 28 February. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/Bernard-Membe-to-respond-after-he-is-expelled/1840340-5472364-xlgvrcz/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- Machira, Polycarp 2017. "CCM Axes 18 in Purge of Pro-Lowassa Supporters." *The Guardian*, 12 March. (<https://www.ippmedia.com/en/news/ccm-axes-18-purge-pro-lowassa-supporters>, 2020年6月25日アクセス).
- Mtengwa, Emmanuel 2020. "Magufuli Guaranteed by 1.2 Million Cadres as CCM Candidate." *The Citizen*, 30 June. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/Magufuli-guaranteed-by-1-2-million-cadres-as-CCM-candidate/1840340-5585644-i88k7j/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- Mtulya, Athuman 2019. "Five Things Tanzania's President 'Bulldozer' Magufuli Has Banned." *BBC*, 5 March. (<https://www.bbc.com/news/world-africa-47334545>, 2020年6月25日アクセス).



- Mwai, Peter and Christopher Giles 2020. "Coronavirus in Tanzania: What Do We Know?" *BBC*, 19 June. (<https://www.bbc.com/news/world-africa-52723594>, 2020年6月25日アクセス).
- Mwangonde, Henry 2015. "Magufuli Strikes Again: Uhuru Day Scrapped." *The Citizen*, 24 November. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/1840340-2969570-12io6ks/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- Paget, Dan 2017a. "Tanzania: Shrinking Space and Opposition Protest," *Journal of Democracy* 28(3): 153-167.
- 2017b. "All Bets Are Off As Magufuli's Resource Nationalism Moves up a Gear in Tanzania." *The Conversation*, 28 July. (<https://theconversation.com/all-bets-are-off-as-magufulis-resource-nationalism-moves-up-a-gear-in-tanzania-81632>, 2020年6月25日アクセス).
- 2017c. "Magufuli Has Been President for Two Years: How He's Changing Tanzania." *The Conversation*, 3 November. (<https://theconversation.com/magufuli-has-been-president-for-two-years-how-hes-changing-tanzania-86777>, 2020年6月25日アクセス).
- 2019. "The Authoritarian Origins of Well-Organized Opposition Parties: The Rise of Chadema in Tanzania." *African Affairs* 118(473): 692-711.
- Pedersen, Rasmus Hundsbaek and Thabit Jacob 2019. "Political Settlement and the Politics of Legitimation in Countries Undergoing Democratisation: Insights from Tanzania." *ESID Working Paper* No. 124. Manchester: Effective States and Inclusive Development Research Centre, The University of Manchester.
- Polus, Andrzej and Wojciech Tycholiz 2019. "David versus Goliath: Tanzania's Efforts to Stand Up to Foreign Gas Corporations." *Africa Spectrum* 54(1): 61-72.
- Poncian, Japhace 2019. "Galvanizing Political Support Through Resource Nationalism: A Case of Tanzania's 2017 Extractive Sector Reforms." *Political Geography* 69: 77-88.
- Simtowe, Aurea 2019. "Magufuli: I Have Never Banned Political Rallies." *The Citizen*, 24 January. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/Magufuli-I-have-never-banned-political-rallies/1840340-4949028-oyqkg3/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- Taylor, Ben 2020. "Are the 2019 Local Elections a Foretaste of 2020?" *Tanzanian Affairs* 125. (<https://www.tzaffairs.org/2020/01/politics-10/>, 2020年6月25日アクセス).
- The Citizen* 2015. "Profile: John Pombe Joseph Magufuli." 24 October. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/PROFILE--John-Pombe-Joseph-Magufuli-/1840340-2927326-k4xewcz/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- 2017. "JPM Foreign Travel Ban Saves Sh900bn." 10 February. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/JPM-foreign-travel-ban-saves-Sh900bn/1840340-3807722-j72jobz/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- 2019. "Tanzania's Main Opposition Party, Chadema, Boycotts Local Government Polls." 11 November. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/Tanzania-s-main-opposition-party--Chadema-/1840340-5341250-gikiux/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- 2020a. "'It's All About the Presidency', Membe Says After Expulsion from CCM." 29 February. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/-It-s-all-about-the-Presidency-/1840340-5473356-1120mc/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- 2020b. "Magufuli Reiterates Free Election Pledge." 17 June. (<https://www.thecitizen.co.tz/news/Magufuli-reiterates-free-election-pledge/1840340-5577996-3h6np8/index.html>, 2020年6月25日アクセス).
- The Economist* 2019. "A Dose of Bull Tanzania's Leader, the 'Bulldozer', Runs off Course." 14 March. (<https://www.economist.com/middle-east-and-africa/2019/03/14/tanzanias-leader-the-bulldozer-runs-off-course>, 2020年6月25日アクセス).
- United Republic of Tanzania n. d. "Tanzania Development Plan, Vision and Investment Priorities to Achieve Middle Income Status by 2025." Ministry of Finance and Planning and Tanzania Investment Centre. (<https://mof.go.tz/mofdocs/overarch/vision2025.htm/>, 2020年6月25日アクセス).
- Westcott, Nick 2019. "Tanzania: Has President Magufuli Forgotten Nyerere's Lessons?" *African Arguments*, 22 August. (<https://africanarguments.org/2019/08/22/tanzania-magufuli-nyerere-forgotten-lessons/>, 2020年6月25日アクセス).

(つぶら・まちこ／アジア経済研究所)

